

各 位

2019年9月6日

株式会社東急コミュニティー

プラネタリウム事業 30周年記念作品

「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行！？ -ブラックホールとの遭遇-」配給開始
～オリジナル配給番組第2弾～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、プラネタリウム事業の30周年を記念して、オリジナル配給番組を制作し、11月より全国のプラネタリウムや商業施設を対象に配給（外部販売）することとなりましたのでお知らせします。

オリジナル配給番組制作について

当社は1988年より、渋谷の東急文化会館内「五島プラネタリウム」（2001年閉館）から支援を受け、公共施設を中心にプラネタリウム事業を展開しています。建物のハード面の管理だけでなく、プラネタリウム解説員を社員として雇用・育成し、施設で上映する番組の企画・制作や天文教室の開催等のソフト面を含めて、30年間にわたり運営ノウハウを蓄積してきました。

2016年には300本以上の番組制作に携わった経験を活かし、オリジナル番組「まくまくんの星空大冒険」を制作し、初めて当社管理外のプラネタリウム施設への配給を行っています。

イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行！？ -ブラックホールとの遭遇-

オリジナル配給番組2作目となる本作は、前作から提携しているプラネタリウムハードメーカーでプラネタリウム国内シェア60%以上を占める「株式会社五藤光学研究所」と、アニメーション・CG制作に携わる「有限会社カナングラフィックス」と提携して制作しました。

主人公には2016年よりスペースシャワーTVで放送された、YouTubeでも人気のアニメ番組「イナズマデリバリー」のキャラクターで、サメの着ぐるみを着た迷子の宇宙人『バイザウェイ』を起用。視聴者に宇宙という壮大なフィールドをキャラクターと一緒に体感してもらいながら、「多様性」「文化を尊重しあうこと」について考えてもらう内容になっています。

単なるエンターテインメント作品ではなく「プラネタリウム事業者の制作した番組」として学術性を加味するべく、天文学者の国立天文台副台長である渡部潤一氏に監修を依頼し、ブラックホールや宇宙の構造など、天文学的考証にもこだわっています。

本番組は、当社が管理・運営するコスモプラネタリウム渋谷でのハロウィンイベント試写会を皮切りに、2019年11月より上映予定です。3年間で10件以上の外部販売を目指してまいります。



©INAZMA Project

東急コミュニティーについて

東急コミュニティーは、全国でマンション、ビル・施設、公共施設管理運営を行っている総合不動産管理会社です。マンションで33万戸、ビルで1,100件の管理実績があります。その他、ホールなどの文化施設、スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設などさまざまな用途の維持管理運営実績もございます。

プラネタリウム事業においては、現在10館のプラネタリウム施設運営を受託しています。当社が制作している番組は、プラネタリウム施設以外のイベントなどでも利用できるよう、ドームやプラネタリウム機器がなくても投影できる別バージョンが用意されています。当社のさまざまな管理リソースを活かして、他にはない集客イベントの企画など、施設のニーズに寄り添った運営を展開してまいります。

★番組について★

■タイトル：「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行！？ーブラックホールとの遭遇ー」

■番組時間：約25分

■配給先：ドーム映像版 : プラネタリウム各館

スクエア映像版 : 商業施設等

■番組内容：遠い惑星の、ある子供部屋。

誕生日に望遠鏡をプレゼントされた「バイザウェイ」が、地球のサメに会うため、冒険に出かけます。地球への道のりで、銀河やブラックホール、さまざまな星に出会い、バイザウェイは宇宙の多様性に気づきます。

■監修：自然科学研究機構 国立天文台 副台長 渡部 潤一氏
総合研究大学院大学 数物科学研究科天文科学専攻教授

【番組内容・配給に関するお問合せ】

ビル第一事業部施設運営部プラネタリウム事業課 (担当：名塚)

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター (担当：高村・伊藤)

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。